

平成 2 3 年度
事業報告書

社団法人 日本工業用水協会

事業報告書目次

1. 会 務	1
(1) 会員の現況	1
(2) 総会	2
(3) 理事会	3
(4) 正副会長会議	5
(5) 監事会	6
2. 工業用水道事業の推進.....	7
(1) 平成24年度工業用水道事業施策に関する要望	7
(2) 平成24年度工業用水関係予算の確保に関する政府要望	7
3. 事 業	7
(1) 調査研究業務	7
(2) 出版に関する事業	13

1. 会 務

(1) 会員の現況

平成24年3月31日現在の会員は、下表に示すとおりである。

会 員 別	会 員 数	2 3 年 度	
		入 会 者	退 会 者
正会員	1 6 1 (1 6 1)	0 (1)	0 (1)
	事業者	1 2 8 (1 2 8)	0 (0)
	利用者	3 3 (3 3)	0 (1)
特別会員 (顧問を含む)	5 3 (4 9)	4 (3)	0 (6)
関連産業会員	4 6 (4 5)	1 (0)	0 (7)
計	2 6 0 (2 5 5)	5 (4)	0 (1 4)

(括弧内 : 前年度)

(2) 総 会

(2). 1 第 5 4 回通常総会

日 時 平成 2 3 年 6 月 2 2 日 (水)
場 所 東京水道橋 東京学院会議室
出席者 会長代理 愛知県山川公営企業管理者 ほか 7 1 名
来 賓 経済産業省産業施設課 伊藤工業用水道計画官
狩野課長補佐 ほか 2 名
議 題 第 1 号議案 平成 2 2 年度事業報告書 (案)
第 2 号議案 平成 2 2 年度財務諸表及び収支計算書並びに監査報告 (案)
第 3 号議案 後任役員の選任について (案)
そ の 他 (1) (社) 日本工業用水協会の事業及び組織のあり方検討 (最終
報告書) (案)
(2) 組織等の見直し委員会 (仮称) の設置について (案)
(3) 工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ平成 2 2 年
度活動報告 (案)
(4) 平成 2 4 年度工業用水道事業施策に関する要望事項 (案)
(5) 東日本大震災で被災した事業者会員に対する会費の減額に
ついて (案)

概 要

総会成立宣言 (会員総数 2 5 3 名中委任状を含む 1 8 7 会員出席) に続いて、会長代理の愛知県山川公営企業管理者が議長となり、議事録署名人として議長のほか橋本茨城県知事、森田千葉県知事を選任のうえ議事に入った。

議長の命により各議案に沿って事務局が説明を行い、これについて審議が行われ、議案のすべてが異議なく原案どおり承認された。

議案審議後、その他として議長から事務局に説明を求め、それぞれについて事務局より説明を行った。

「(社) 日本工業用水協会の事業及び組織のあり方検討 (最終報告書) 」及び「組織等の見直し委員会 (仮称) の設置について」それぞれ報告し、組織等の見直し委員会 (仮称) の設置については、平成 2 5 年度からの一般社団法人への移行に向け、定款等の見直しなど具体的な検討を行っていくため、委員会を設置することとした。

「平成 2 4 年度工業用水道事業施策に関する要望事項」及び「東日本大震災で被災した事業者会員に対する会費の減額について」はそれぞれ原案どおり実施することとした。

(2). 2 第 5 5 回通常総会

日 時 平成 2 3 年 1 1 月 4 日 (金)
場 所 東京市ヶ谷 アルカディア市ヶ谷
出席者 会長代理 愛知県山川公営企業管理者 ほか 1 2 0 名
来 賓 経済産業省 内山地域経済産業審議官
経済産業省産業施設課 桑山工業用水道計画官
狩野課長補佐 ほか 3 名
総務省自治財政局 笠井公営企業経営室長 ほか 1 名
(社) 日本水道協会 尾崎専務理事
(社) 日本水道工業団体連合会 坂本専務理事
次 第 会長挨拶
来賓祝辞

会長表彰

議 題	第 1 号議案	平成 2 4 年度事業計画案について
	第 2 号議案	平成 2 4 年度収支予算案について
	第 3 号議案	後任役員の選任案について
	そ の 他	報告事項等
		1. 公益法人制度改革に係る基本的な見直し事項について(案)
		2. 工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ報告(案)
		3. 平成 2 4 年度工業用水関係予算の確保等に関する要望(案)

講 演 東京大学生産技術研究所 目黒教授

概 要

総会成立宣言(会員総数 2 5 7 名中委任状を含む 1 7 2 会員出席)の後、会長の愛知県知事大村秀章(代理 山川公営企業管理者)から挨拶があり、続いて、経済産業大臣(代理 内山地域経済産業審議官)、総務大臣(代理 笠井公営企業経営室長)から祝辞を賜った。

次に、多年工業用水道事業の普及発展に顕著な功績を挙げられた方々に対する会長表彰が行われ、功労賞 4 名、勤続賞 6 4 名に各々賞状が授与された。

続いて、会長代理の愛知県山川公営企業管理者が議長となり、議事録署名人として議長のほか橋本茨城県知事、森田千葉県知事を選任のうえ議事に入った。

議長の命により、各議案について事務局が説明を行い、これについて審議が行われ、議案のすべてが異議なく原案どおり承認された。

議案審議後、その他として議長から事務局に説明を求め、それぞれについて事務局より説明を行った。

「公益法人制度改革に係る基本的な見直し事項について」、「工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ報告」及び「平成 2 4 年度工業用水関係予算の確保等に関する要望」について、それぞれ事務局から説明を行った。

「公益法人制度改革に係る基本的な見直し事項について」は、組織の見直し委員会報告のとおり進め、平成 2 4 年 6 月の総会で一般社団法人への移行申請のための審議を行うこととした。また、「平成 2 4 年度工業用水関係予算の確保等に関する要望」については、原案通り実施することとした。

最後に、東京大学生産技術研究所目黒教授から「総合的地震防災システムについて」について講演が行われた。

(3) 理 事 会

(3) . 1 第 1 回 (第 1 8 4 回)

日 時	平成 2 3 年 6 月 2 2 日 (水)
場 所	東京水道橋 東京学院会議室
出席者	会長代理 愛知県山川公営企業管理者 ほか役員 4 8 名
来 賓	経済産業省産業施設課 伊藤工業用水道計画官 狩野課長補佐 ほか 2 名
議 題	第 1 号議案 平成 2 2 年度事業報告書(案)
	第 2 号議案 平成 2 2 年度財務諸表及び収支計算書並びに監査報告(案)
	第 3 号議案 入会申込について(案)
	第 4 号議案 後任役員の選任(案)
	第 5 号議案 平成 2 4 年度工業用水道事業施策に関する要望事項(案)

- そ の 他 (1) (社)日本工業用水協会の事業及び組織のあり方検討(最終報告書)(案)
 (2)組織等の見直し委員会(仮称)の設置について(案)
 (3)工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ平成22年度活動報告(案)
 (4)東日本大震災で被災した事業者会員に対する会費の減額について(案)
 (5)東北地方太平洋沖地震に係る工業用水道施設の被害状況調査計画案

概 要

経済産業省産業施設課伊藤工業用水道計画官から挨拶を頂戴した後、愛知県山川公営企業管理者が議長となり、議事録署名人として議長のほか橋本茨城県知事、森田千葉県知事を選任のうえ議事に入った。

議長の命により各議案に沿って事務局が説明を行い、これについて審議が行われ、議案のすべてが異議なく原案どおり承認された。

なお、第5号議案の平成24年度工業用水道事業施策に関する要望については、後日速やかに関係各省庁に要望を行うこととなった。

議案審議後、その他として議長から事務局に説明を求め、それぞれについて事務局より説明を行った。

「(社)日本工業用水協会の事業及び組織のあり方検討(最終報告書)」及び「組織等の見直し委員会(仮称)の設置について」は、平成25年度からの一般社団法人への移行に向け、定款等の見直しなど具体的な検討を行っていくため、委員会を設置していくことを総会に報告することとした。

「工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ平成22年度活動報告」及び「東日本大震災で被災した事業者会員に対する会費の減額について」原案のとおり総会に報告することとした。

「東北地方太平洋沖地震に係る工業用水道施設の被害状況調査計画案」は、原案どおり実施することとした。

(3).2 第2回(第185回)

日 時	平成23年10月19日(水)
場 所	東京水道橋 東京学院会議室
出席者	会長代理 愛知県山川公営企業管理者 ほか役員60名
来 賓	経済産業省産業施設課 桑山工業用水道計画官 狩野課長補佐 ほか3名
議 題	第1号議案 平成24年度事業計画案について 第2号議案 平成24年度収支予算案について 第3号議案 後任役員を選任案について 第4号議案 会長表彰受賞候補者の選考案について そ の 他 報告事項等 1.日本工業用水協会第55回通常総会日程、次第(案) 2.公益法人制度改革に係る基本的な見直し事項について(案) 3.工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ報告(案) 4.平成24年度工業用水関係予算の確保等に関する要望(予定) 平成24年度工業用水関係予算の確保等に関する要望(案)

概 要

経済産業省桑山工業用水道計画官から挨拶を頂戴した後、愛知県山川公営企業管理者が議長となり、議事録署名人として議長のほか橋本茨城県知事、森田千葉県知事を選任のうえ議事に入った。

議長の命により各議案に沿って事務局が説明を行い、これについて審議が行われ、議案のすべてが異議なく原案どおり承認された。

議案審議後、その他として議長から事務局に説明を求め、それぞれについて事務局より説明を行った。

「日本工業用水協会第55回通常総会日程、次第」及び「成24年度工業用水関係予算の確保等に関する要望への実施予定等」については、原案どおり実施していくこととした。

「公益法人制度改革に係る基本的な見直し事項について」は、組織の見直し委員会報告のとおり進め、定款・関係規則の修正作業を実施し、平成24年6月の総会で、一般社団法人への移行申請のための審議を行うこととした。

(4) 正副会長会議

(4).1 第1回(第80回)

日 時 平成23年6月22日(水)

場 所 東京水道橋 東京学院会議室

出席者 会長代理 愛知県山川公営企業管理者 ほか役員6名

議 題 第1号議案 平成22年度事業報告書(案)

第2号議案 平成22年度財務諸表及び収支計算書並びに監査報告(案)

第3号議案 入会申込について(案)

第4号議案 後任役員を選任(案)

第5号議案 平成24年度工業用水道事業施策に関する要望事項(案)

そ の 他 (1)(社)日本工業用水協会の事業及び組織のあり方検討(最終報告書)(案)

(2)組織等の見直し委員会(仮称)の設置について(案)

(3)工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ平成22年度活動報告(案)

(4)東日本大震災で被災した事業者会員に対する会費の減額について(案)

(5)東北地方太平洋沖地震に係る工業用水道施設の被害状況調査計画案

概 要

愛知県山川公営企業管理者が議長となって議事に入った。

議長の命により各議案に沿って事務局が説明を行い、これについて審議が行われ、議案のすべてが異議なく原案どおり承認された。

議案審議後、その他として議長から事務局に説明を求め、それぞれについて事務局より説明を行った。

その他について、それぞれ原案どおり理事会に報告することとした。

(4).2 第2回(第81回)

日 時 平成23年10月19日(水)

場 所 東京水道橋 東京学院会議室

- 出席者 会長代理 愛知県山川公営企業管理者 ほか役員 6 名
- 議 題 第 1 号議案 平成 2 4 年度事業計画案について
第 2 号議案 平成 2 4 年度収支予算案について
第 3 号議案 後任役員を選任案について
第 4 号議案 会長表彰受賞候補者の選考案について
そ の 他 報告事項等
1. 日本工業用水協会第 5 5 回通常総会日程、次第（案）
 2. 公益法人制度改革に係る基本的な見直し事項について（案）
 3. 工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ報告（案）
 4. 平成 2 4 年度工業用水関係予算の確保等に関する要望(予定)
平成 2 4 年度工業用水関係予算の確保等に関する要望（案）

概 要

愛知県山川公営企業管理者が議長となって議事に入った。

議長の命により各議案に沿って事務局が説明を行い、これについて審議が行われ、議案のすべてが異議なく原案どおり承認された。

議案審議後、その他として議長から事務局に説明を求め、それぞれについて事務局より説明を行った。

その他について、それぞれ原案どおり理事会に報告することとした。

(5) 監 事 会

- 日 時 平成 2 3 年 6 月 1 0 日
- 場 所 日本工業用水協会会議室
- 出席者 神戸市水道事業管理者（代理 水道局業務課橋本主査）
日本上下水道設計株式会社代表取締役社長（代理 市川執行役員技術本部長）
福島県知事（書面審議）

概 要

平成 2 2 年度における会務執行状況及び会計収支決算状況について監査が行われた結果、会務、会計収支ともに厳正かつ適切に運営・処理されていると認められた。

2. 工業用水道事業の推進

(1) 平成24年度工業用水道事業施策に関する要望

日時 平成23年8月4日(木)
参加者 会長代理 愛知県企業庁田口技術監 ほか10名

概要

第184回理事会で承認された要望事項について、正副会長、事務局代表者で構成する要望団により、民主党幹事長に対して(経済産業省、総務省、財務省の各政務三役あて要望書を添えて)要望を行った。また、先立って経済産業省で要望事項等政策に関する意見交換を行い、引き続き、総務省自治財政局、国土交通省水管理・国土保全局へ要望を行った。

(2) 平成24年度工業用水関係予算の確保に関する政府要望

日時 平成23年11月21日(月)
参加者 会長代理 愛知県企業庁田口技術監 ほか10名

概要

平成24年度工業用水関係予算の満額確保に向けて、正副会長、事務局代表者で構成する要望団により、民主党幹事長に対して(経済産業省、総務省、財務省、内閣府の各政務三役あて要望書を添えて)要望を行った。また、引き続き総務省、経済産業省へ要望の報告と説明を行った。

3. 事業

(1) 調査研究業務

(1).1 工業用水道事業研究大会

日時 平成23年7月13日(水)、14日(木)
場所 三重県津市 ホテルグリーンパーク津
出席者 150名
来賓 経済産業省産業施設課 桑山工業用水道計画官 ほか5名
総務省公営企業経営室 笠井室長 ほか1名
中部経済産業局地域振興課 中島課長 ほか1名
綾顧問

概要

開会挨拶の後、三重県東地公営企業管理者から歓迎の挨拶があり、次いで総務省笠井公営企業経営室長並びに経済産業省桑山工業用水道計画官から来賓挨拶があった。続いて、大会の運営方法について事務局より報告し了承を得た。

最初に、「東日本大震災の被害と復旧」について、宮城県企業局、福島県企業局、茨城県企業局からそれぞれ報告がされた。

午後、「自然災害・緊急時等における事業継続計画及び復旧支援への取組」について、三重県企業庁谷口工業用水道事業室長が座長となって進められた。最初に事務局からアンケート結果の報告、次いで横浜市、神戸市、富山県(事務局が代読)、岩手県、千葉県から事例紹介があり、質疑応答・意見交換が行われた。

2日目は、「需要拡大への取組」、「天日乾燥脱水汚泥の有効利用への取組」、「浄水場等の運転管理委託の取組(現状と課題)」、「耐震管への管路更新におけるコスト縮減へ

の取組」の各自由課題について、名古屋市上下水道局施設管理課梅原主幹を座長として、愛知県（２課題） 埼玉県、熊本県、兵庫県、山口県から事例報告があり、質疑応答・意見交換が行われた。この中で、各事業者における資機材の備蓄状況を把握し、情報の共有化をはかる必要があるとの提案がされ、事務局で情報の収集及び提供を行っていくこととした。

この間、各課題に対し熱心な討議が行われ、経済産業省、総務省、綾顧問から適切なアドバイスを頂き２日間の大会を盛会裡に終了した。

(1).2 工業用水道事業経営委員会・工業用水道技術委員会の合同委員会

日 時 平成23年4月19日(火)
場 所 東京水道橋 東京学院会議室
出席者 経営委員会服部委員長、技術委員会綾委員長 ほか29名
来 賓 経済産業省産業施設課 伊藤工業用水道計画官
 狩野課長補佐 ほか3名
 総務省公営企業経営室 清水目課長補佐 ほか1名
議 題 1. 工業用水関連分野のあり方ワーキンググループについて
 2. 平成23年度工業用水道事業研究大会における検討課題の選定について
 3. 東北地方太平洋沖地震被災工業用水道事業体に対する財政支援措置を国に求めることについて(緊急議題)
 4. 平成24年度工業用水道事業施策要望について

概 要

事務局より開会の後、経済産業省伊藤工業用水道計画官及び総務省清水目課長補佐からご挨拶をいただいた。続いて服部経営委員長、綾技術委員長からそれぞれ挨拶があった後、議事進行方法を諮り議事に入った。

工業用水関連分野のあり方ワーキンググループについて、22年度の活動状況及び今年度の活動計画について報告、了承された。

次に、平成23年度事業研究大会における検討課題について、事務局の説明に続いて、提案のあった事業体委員からその内容について説明があった。その後、事務局案を基に審議が行われ、「自然災害・緊急時等における事業継続計画及び復旧支援への取組」を指定課題に、「需要拡大等への取組」、「天日乾燥脱水汚泥の有効利用への取組」、「浄水場等の運転管理委託の現状と課題」、「耐震管への管路更新におけるコスト縮減への取組」を自由課題に選定し、また、東北地方太平洋沖地震への対応についての報告を依頼することとした。

なお、当日の開催要領について事務局提案のとおりであわせて了承された。

議題3.については、国が既に執っている状況の説明が行われた。

また、「平成24年度工業用水道事業施策に関する要望事項」について、各事業体から提案された要望事項について検討した後、要望事項のとりまとめ・実施方法について事務局から要領案を説明し、正副会長県等で作業チームを設置して、原案を作成の上、本委員会に諮る実施手順が了承された。

(1).3 工業用水道事業経営委員会要望検討作業チーム

日 時 平成23年5月30日(月)
場 所 日本工業用水協会会議室
出席者 愛知県企業庁水道計画課福井主任主査 ほか5名

概 要

事業者会員から提出のあった各要望事項について、整理・調整し平成24年度国への要望事項案として取りまとめた。

(1).4 工業用水関連産業部会

日 時 平成23年5月12日(木)
場 所 京都府福知山市 ホテルロイヤルヒル福知山
出席者 本山部会長 ほか26名
来 賓 経済産業省産業施設課 伊藤工業用水道計画官 ほか3名
概 要

京都府公営企業管理事務所・浄水場、日本製紙クレシア(株)京都工場を視察した後、ホテルロイヤルヒル福知山で部会を開催した。

部会は、本山部会長から挨拶の後、京都府文化環境部磯崎公営企画課長から歓迎の挨拶があった。その後、経済産業省伊藤工業用水道計画官から平成23年度事業予算、工業用水道を取り巻く最近の話題についてご講演を頂き、活発な意見交換が行われた。

(1).5 工業用水処理技術委員会(後述(2).1の編集委員会と合同開催)

日 時 平成24年1月17日(火)
場 所 日本工業用水協会会議室
出席者 綾・並木両委員長 ほか委員16名
概 要

第47回研究発表会(平成24年3月)の運営、日刊工業新聞社賞の選定及びプログラム編成等の検討を行った。

(1).6 研究発表会(第47回)

日 時 平成24年3月1日(木)、2日(金)
場 所 東京市ヶ谷 自治労第1会館
参加者 約100名
来 賓 経済産業省産業施設課 桑山工業用水道計画官
概 要

工業用水処理技術委員会綾委員長代理の挨拶に続き、来賓の経済産業省桑山工業用水道計画官からご挨拶を頂いた。次に、前年1年間の協会誌「工業用水」に掲載された論文の中から優れた論文に対し会長表彰する論文賞として、綾編集委員長から「福山市における浄水場の耐震診断と施設更新の取り組み」に対して代表者に賞状と副賞が授与された。

次に、日刊工業新聞社賞を同社小松総務局総務部長から「新耐震管GENEXの開発」に尽力された(株)クボタに賞状と記念品が贈られた。

続いて、研究発表に入り、上記受賞記念講演のほか22件の研究発表並びに活発な質疑応答が2日間にわたって行われた。

(1). 7 協会の事業及び組織のあり方検討ワーキンググループ 第 4 回

日 時 平成 2 3 年 5 月 2 0 日 (金)
場 所 日本工業用水協会会議室
出席者 愛知県企業庁田口技術監 ほか 2 0 名
議 題 アンケート結果の報告、中間報告書の修正と今後の取扱い、組織の見直し委員会の設置等
概 要
アンケート結果の報告・審議が行われ、最終報告書案をとりまとめ、6 月総会に提出することとした。

(1). 8. 組織等の見直し委員会 第 1 回

日 時 平成 2 3 年 8 月 4 日 (木)
場 所 日本工業用水協会会議室
出席者 愛知県企業庁田口技術監 ほか委員等 2 0 名
議 題 公益法人制度改革に係る基本的な検討課題ほかについて
概 要
協会の事業及び組織のあり方検討ワーキンググループの最終報告書を受けて、第 5 4 回通常総会において本委員会が設置された。
座長に愛知県企業庁田口技術監、副座長に千葉県企業庁石田管理・工業用水部次長を選出し、設置要領が承認された後、公益法人改革に係る組織の基本的な検討課題について検討が行われた。

(1). 8. 組織等の見直し委員会 第 2 回

日 時 平成 2 3 年 9 月 1 日 (木)
場 所 日本工業用水協会会議室
出席者 愛知県企業庁田口技術監 ほか委員等 1 9 名
議 題 見直し事項に係るアンケートほかについて
概 要
組織に係る見直し事項について検討され、それに係るアンケート実施案について検討が行われた。

(1). 8. 組織等の見直し委員会 第 3 回

日 時 平成 2 3 年 1 1 月 2 1 日 (月)
場 所 日本工業用水協会会議室
出席者 愛知県企業庁田口技術監 ほか委員等 2 0 名
議 題 公益法人制度改革に係る基本的な見直し事項の具体的な取扱いについてほか
概 要
公益法人制度改革に係る基本的な見直し事項の具体的な取扱い、定款変更案、各種規定等の変更案、公益目的支出計画案について検討が行われ、引き続き検討していくこととした。

(1). 8. 組織等の見直し委員会 第 4 回

日 時 平成 2 4 年 1 月 2 6 日 (木)

場 所 日本工業用水協会会議室

出席者 愛知県企業庁田口技術監 ほか委員等 2 2 名

議 題 一般社団法人移行に伴う役員人事、定款の変更等について

概 要

一般社団法人移行後の役員人事案及び諸規定・規則についてそれぞれ事務局から説明し、概ね了解された。

なお、本委員会を平成 2 4 年度も継続する方向で了解された。

(1). 9. 工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ (第 7 回)

日 時 平成 2 3 年 5 月 2 6 日 (木)

場 所 日本工業用水協会会議室

出席者 茨城県企業局業務課藻垣主査 (座長) ほか委員等 1 5 名

議 題 事故・トラブル事例集、工業用水道施設の計画的維持・更新手法 (案) ほか

概 要

平成 2 2 年度の検討課題について確認され、2 3 年度活動状況等について検討された。また、総会報告事項として平成 2 2 年度活動報告が了承された。

(1). 9. 工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ (第 8 回)

日 時 平成 2 3 年 9 月 3 0 日 (金)

場 所 日本工業用水協会会議室

出席者 愛知県企業庁水道事業課八木主幹 (座長) ほか委員等 1 9 名

議 題 平成 2 3 年度の検討課題、活動報告ほか

概 要

平成 2 3 年度検討課題の工業用水道施設の計画的維持・更新手法 (案) 及び工業用水道事業の災害相互応援に関する基本合意 (案) について説明がされ、引き続き検討を進めることとした。

また、ワーキンググループ活動の中間報告案を確認し、総会へ報告することとした。

(1). 9. 工業用水関連分野のあり方ワーキンググループ (第 9 回)

日 時 平成 2 4 年 3 月 2 9 日 (木)

場 所 日本工業用水協会会議室

出席者 愛知県企業庁水道事業課八木主幹 (座長) ほか委員等 1 9 名

議 題 東北地方太平洋沖地震に係る工業用水道施設の被災状況調査報告書案ほか

概 要

平成 2 3 年度検討課題の 工業用水道施設の計画的維持・更新手法、東北地方太平洋沖地震に係る工業用水道施設の被災状況調査報告書、工業用水道事業における災害相互応援に関する基本ルールの各案について審議調整され、微修正等の後、技術・経営委員会に報告することとした。

(1).10. 東北地方太平洋沖地震に係る工業用水道施設の被災状況調査

日時1 平成23年7月22日(金)
場所 宮城県企業局工業用水道事務所ほか
調査団 団長：東京都市大学長岡教授
団員：茨城県、千葉県、愛知県、岡山県、(株)クボタ
オブザーバー：経済産業省桑山工業用水道計画官 ほか担当官

概要

宮城県工業用水道事務所で工業用水道施設の被災状況等についてヒアリング調査を実施した後、仙塩・仙台圏工業用水道の被災状況等について視察を行った。

日時2 平成23年7月26・27日(火・水)
場所 福島県企業局いわき事業所ほか
調査団 団長：東京都市大学綾名誉教授
団員、オブザーバー：上記に同じ

概要

7月26日に福島県企業局いわき事業所でヒアリング調査を実施した。27日に磐城・勿来・小名浜工業用水道の被災状況等について視察を行った。

日時3 平成23年8月9日(火)
場所 茨城県企業局鹿行水道事業所
調査団 上記(福島県)に同じ
概要

茨城県鹿行水道事務所でヒアリング調査を実施した後、鱈川浄水場の被災状況等について視察を行った。

(1).11. 東北地方太平洋沖地震に係る被災状況調査検討サブワーキンググループ
第1回

日時 平成23年9月15日(木)
場所 日本工業用水協会会議室
出席者 綾委員長、東京都市大学長岡教授 ほか委員等24名
議題 調査の実施について、調査の進め方についてほか
概要

7～8月にかけて行われた現地調査(上掲)を受けて、結果等を取りまとめ、震災対策等事業者が執るべき基礎資料とすることを目的として、本サブワーキンググループを設置した。

委員長に綾顧問、副委員長に東京都市大学長岡教授を選出した後、調査の進め方、アンケート案の検討が行われ、平成24年2月までにとりまとめることとした。

(1).11. 東北地方太平洋沖地震に係る被災状況調査検討サブワーキンググループ
第2回

日時 平成23年12月2日(金)
場所 日本工業用水協会会議室
出席者 綾委員長、東京都市大学長岡教授 ほか委員等20名
議題 アンケート中間報告等について、報告書素案についてほか

概 要

アンケートの中間報告、報告書のとりまとめについて検討され、次回報告書（案）として検討することとした。

(1) .11. 東北地方太平洋沖地震に係る被災状況調査検討サブワーキンググループ 第 3 回

日 時 平成 2 4 年 2 月 1 6 日（木）

場 所 日本工業用水協会会議室

出席者 綾委員長、東京都市大学長岡教授 ほか委員等 2 1 名

議 題 アンケート報告について、報告書案等について

概 要

アンケートの報告、報告書案等について説明、検討され、追加事項について書面での確認の上、修正することとした。

(1) .12 水道分野における官民連携推進協議会

（厚生労働省、経済産業省、日本水道協会との共催、3 回開催）

概 要

我が国の水道分野（水道事業及び工業用水道事業）を取り巻く環境が年々厳しさを増す中、これらの課題に対して、広域化の推進や官民連携、水道事業と工業用水道事業との連携など地域の実情を勘案し、多様な形態により運営基盤の強化を推進することが不可欠であり、厚生労働省と経済産業省が連携し、水道事業者等と民間事業者との間におけるマッチング促進を目的とした「水道分野における官民連携推進協議会」を以下の体制で開催した。

実施体制 主催 厚生労働省、経済産業省

共催 （社）日本水道協会、（社）日本工業用水協会

本取組は、「水道分野における関係者連絡会議」における活動の一環

開催状況 第 1 回協議会

平成 2 3 年 1 1 月 1 0 日（木）広島県広島市 参加 1 1 5 名

第 2 回協議会

平成 2 3 年 1 1 月 2 4 日（木）福岡県福岡市 参加 1 2 1 名

第 3 回協議会

平成 2 3 年 1 2 月 1 3 日（火）埼玉県さいたま市 参加 1 6 0 名

(2) 出版に関する事業

(2) .1 編集委員会（幹事会を含め 5 回開催）

編集委員会、編集幹事会を開催し、会誌「工業用水」の編集方針、企画、編集整理、原稿審査等を行った。また、掲載論文の中から論文賞の選考を行った。

また、今年度から工業用水処理技術委員会との合同開催とし（平成 2 4 年 1 月 1 7 日開催）第 4 7 回研究発表会の応募発表及び日刊工業新聞社賞を審査して、プログラムの編成を行った。

(2) . 2 出版図書

・会誌「工業用水」平成23年5月～平成24年3月号(No. 606～611)

(3) 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業

(3) . 1 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定

前澤工業(株)ほか6件の認定更新申請があり、事業体委員で構成される「管・弁類等製造事業場認定委員会」により、製造事業場の設置、検査法、品質管理等についての審査を行った結果、認定工場として承認した。

(3) . 2 管・弁類の委託検査

工業用水道において使用するダクタイル鋳鉄管、鋼管、硬質塩化ビニル管、弁類等の検収検査を(社)日本水道協会に委託して行った。

(4) 受託調査等

河川整備基金助成事業「我が国上・中流域河川に出現する微生物データベース化とその普及啓発事業」について、調査・分析を行い報告書にとりまとめた。